



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：鈴木 東雄 幹事：坂本 佳友 発行：会報・広報委員会

第 2964 例会 (43号) 2015 年 5 月 14 日 (木) 晴

会員卓話 SPEECH

夏の甲子園の思い出

株いわきエイジェンシー代表取締役
松崎 浩 会員



全国高校野球選手権大会、いわゆる夏の甲子園大会は今年で百年目を迎えます。戦争での中断があるため、大会の回数は第97回になります。私は、磐城高校野球部員として昭和46年の第53回大会に出場し、決勝まで進むことができました。結果は神奈川

川県代表の桐蔭学園に「0-1」で惜敗し準優勝でしたが、当時のテレビ放送のビデオとダイジェスト版のDVDを皆さんに見てもらおうと思います。その頃の高校野球と現在の違いを皆さんにクイズの形で、お聞きしますので、お考えください。

(磐城対桐蔭学園のモノクロの映像と、カラー映像による夏の甲子園大会のダイジェストを放映。決勝でヒットを打った5番打者・松崎会員の雄姿、初戦で優勝候補の日大一高を破った磐城高ナインのはつらつとした戦いぶりも紹介される)

映像を見て、ここが違うと分かった方はいらっしゃいますか。

(会員より「金属バットと木製バットが違う」との発言)

その通りです。あと2点ほど違いがあるのですが、もう少し考えてみてください。

決勝戦の映像で7回裏に桐蔭に1点を先制されてしまうのですが、三塁打を打って決勝点のホームを踏んだ土屋選手は、その後、大学を卒業してから母校の監督を長く務めました。磐城高校が野球部創立百周年を迎えた時、2006(平成18)年に当時の思い出を振り返ろうと、桐蔭学園を招き現役選手同士で再戦を行うことになり、土屋監督に率いられたチームが、いわき市を訪れました。磐城高の合宿所入りする際、私が出迎え役になりました。バスから真っ先に降りてきた土屋監督は「おお、松崎。しばらくぶりだな」と声を掛けてきたのです。私はキョトン

として首をかしげていたのですが、私を覚えていた理由は、試合前夜のパーティーでの土屋監督のあいさつで分かったのです。土屋監督は、後輩を指導しながら納得のいかない試合をした時、決まって決勝のビデオを見たそうで、相手の1番から9番打者、守備位置までしっかりと記憶している。だから年月がたっても私の面影を覚えていたというのです。土屋監督にとって磐城との決勝はバイブルのような存在だったと知り、少し誇らしく感じました。

今日皆さんに思い出を語るに当たって見てもらったDVDも、高校野球のライバルから借りたものです。当時、本県と宮城県の代表各2校が戦って甲子園出場を争ったのですが、県代表を決める準決勝で戦ったのが湯本高でした。湯本の4番・坂本は名の知れた強打者で、須永監督は坂本対策に三塁手をレフト付近に守らせる外野4人のシフトを取り、結果的に功を奏したのです。その相手の湯本高の外野手だった人から借りたのがお見せしたダイジェスト版です。

ご覧になった通り、磐城高の選手は小柄なうえ非力とあって、初戦の日大一高戦は誰もが勝てると思っていなかったようです。試合前に同じ練習場所で交代で打撃練習をしたのをOBが見ていて、日大一との迫力の違いに絶句したそうです。ただ、試合をしてみると相手が油断したかどうかは分かりませんが、互角に渡り合い「1-0」で勝つことができました。当時、木製バットだったことも体格や力の差が、あまり現れなかったのだと思います。

あと今と昔の違いに気付かれた方はいますか。

(会員から、監督が選手をベンチに度々呼んで指示をするのは今はないのではとの意見)

そうですね、それは私も気付かなかったが、あるかもしれません。実はですね、1つは磐城高のヘルメットに付いていた耳あてです。今は皆、デッドボールに備えた安全のため耳あてが付いていますが、当時はまだ普及していませんでした。あと1つは打者のグローブ(手袋)です。今は皆、グローブをはめてバットを握りますが、昔は素手でした。滑り止めのため土や砂を手につけているのは見慣れた光景でしたが、現在は見られません。今こうして語りながら、ひたすら白球を追ったあの頃を思い出す日々です。



2014~2015年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーに輝きを」

LIGHT UP ROTARY

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

◆司会：坂本幹事

〔点鐘・ロータリーソング（我等の生業）・
四つのテスト（山崎洋次会員）〕



山崎洋次会員

★結婚祝



越智正典さん
(5月20日)

◆会長挨拶ならびに報告



先週、夏になりましたという事で、二十四節気の「立夏」について申しましたが、5月16、17日ごろは、二十四節気をさらに細かく七十二に分けた七十二候の「竹箨生（たけのこしょうず）」の候になります。筍は成長し過ぎない前に取り、掘ったあと一時間以内に料理しなさいよと、子供のころから言われていました。家の裏は竹林で、昨年まで放射能の影響を心配して食べなかったのですが、今年は分析に出したところ「検出せず」と結果が出たので、食べさせてもらいました。ただ、竹林に入ると猪に荒らされていて、思うほどの量を食べられなかったのは残念です。竹はいろいろな使われ方をします。最近の台所用品は包丁はステンレス製、大根などのおろし器もステンレスやプラスチックです。しかし昔からの日本の食材には、金属を嫌うものがあると聞いています。竹の包丁で調理をし、竹のおろし器で大根をすりつぶす方が本来の味が引き出されるそうですが、今の自分はその差が分かるか疑問です。

我々の生活は、科学技術の進歩、経済の発展に伴い、昔に比べ良い生活環境の中で生きている気がしますが、日本人が本来持っていた道徳観、豊かな心と生活の充実感、他人に対する思いやりは薄れてきていると感じる時があります。外国人が、落とした財布が交番に届けられるのを知ったり、自動販売機が街のあちこちに設置されているのを見て、日本のモラルの高さに驚く話を聞きますが、失われつつある日本人の自己規律をもう一度、見直す時かなと思います。ステンレスと竹の包丁での料理の差を感じることよりも、もっと可能性が高いかなと料理を食べながら考えた次第です。

◆幹事報告

○いわき市国際交流協会より会報「ワールド・アイ」が届きました。

委員会報告

◆出席委員会（志賀弘昌委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
5月14日	50名	27名	—

◆インフォーマルミーティング（IGM）の案内 （野沢達也副幹事）

6月3日午後6時30分から椿山荘で開催。出席の返答をお願いします。

◆親睦活動委員会（小野寺順正委員）

5月24日の分区親睦ゴルフ大会にクラブから11名が参加します。

◆スマイルボックス委員会（高橋康二委員）

♥鈴木東雄さん（松崎さん卓話よろしく）♥松崎浩さん（ビデオを使いますが、見づらい点をご容赦下さい。卓話にお付き合い願います）♥阿部弘行さん（なつかしくて涙がでそうです。第1試合は甲子園で応援してました。小学3年か4年でした）♥三瓶和秀さん（ようやく福島県からのDCキャンペーンの宿泊補助の概要がきました。今月20日頃に発表になります）♥仲沼之博さん（すいません。今日早退します）♥小野寺順正さん（松崎さん卓話楽しみにしています）♥山崎洋次さん（松崎さん卓話よろしく願います）♥関口武司さん（松崎さん、卓話宜しく願います）♥鈴木浩さん（松崎さん卓話お願い致します）♥坂本佳友さん（会長エレクト松崎浩さん、卓話よろしく願います）♥志賀弘昌さん（松崎浩さん卓話よろしく）♥佐々木芳弘さん（松崎浩さん卓話宜しく願います）♥高橋康二さん（松崎浩さん卓話よろしく願います）

以上13件

★本日の例会案内 5月21日(木) PM12:30～
会員卓話 八幡恭朗会員
お食事メニュー＝天麩羅うどん、青豆ごはん

★次回の例会案内 5月28日(木) AM11:00～
職場訪問例会「ひまわり、ふれあい農園」
集合場所：ひまわり信金本店営業部作町出張所